

Watching Carefully

取材・文/トライアウト 撮影/畑中勝知



A

20年が父親の、
社長の背中を大きく見せる。
「今日は酔えない」
って木下さん、
目が赤いのは涙ですか？

西賀茂が一番最初の店舗だったことを知る者は、三十路を超えて、今や重役か有閑マダムか。「まんざら」創業20年。歳月は人を変え、世を変える。が、変わらないものもあってよい。「ターゲット=20代&斬新創作和食」を死守した結果が今の「まんざら」グループ繁栄の礎。京都で「夜遊び」を憶えるのに、この店を通過しなかった者はいないだろう。かつて女の心をドライブに誘って西賀茂へ…は今や木屋町各店をカップルで、はたまた合コンで、と場所や使い方は変わったが、「町家だ、カフェだ、個室だ…」と時代時代のニーズに、たゆまぬ努力でこまめに応じてきた木下社長はじめスタッフの努力の賜物。そして『東京に店を出す』って言ったときは、さすがに心配はしましたが、何をしても結局アノ人は『やるから』っていう事後報告だから(笑)専業主婦はついていだけでですね」と語る奥様の内助の功と、そして愛息と愛娘の存在がその努力を支えてきた。今宵20周年アニバーサリーは、愛する木屋町を見下ろすAce cafeにて、「まんざら」イベントHANABI X SAKIDORIのコラボver.となった。

ただ、今宵の木下さんはどうもいつもと違う。順繰りにDJを務めてくれたCabaret、UP'S CLUB、日の出食堂、枝魯枝魯、Lapin…etc.、ひしめく木屋町飲食方や創業時からの常連さんを前に、家族総出は初めて。娘のダンスに見とれ、奥様と夜景をバックに語り合い、息子には夢を語る。まごうことなき父親の理想像。「今日は酔えない」と笑いながらも、照れか、お酒か、はたまた涙か、目が真っ赤なんですけど、社長。「普段はただのオヤジ」(by長男・恵介くん)なれど、今宵は語らずとも背中が大きく見えたのは、家族だけじゃなく、我々も然り。午前様でメインDJもこなし、その「永遠の20歳」タフネスを自らの体で見せる。その背中についていきます、これからも。



MANZARA 20th
HANABI SAKIDORI-3

@Ace cafe

鉄板



鉄板じゅ-じゅ-酒場

京都市中京区東木屋町通四条上ル
きぬたビル1F

PM 5:30 ~ AM 5:30
TEL 075・254・8290

時間帯によっては満席の場合がございますので
ご予約いただけると幸いです。



阪急河原町徒歩3分、京阪四条駅徒歩5分



A. 木下総帥。「西賀茂から木屋町に出るときはさすがに悩んだけど、嫁さんがケツを叩いてくれたから(笑)。そういう意味では嫁さんのお陰も大きいね」 **B.** 左から木下さんの愛娘・長女の佳耶ちゃん、長男の恵介くん、奥様の眞弓さん。「ファミリー総出はめったにない」とはちょっと照れ気味だった社長の談である **C.** HANABIオーガナイザー植村氏(右)とSAKIDORIオーガナイザー遠藤氏が、今宵の20周年の仕掛け人。「木屋町活性化に、これほどええもんないよ!」 **D.** 長女の佳耶ちゃん所属するダンスグループ「BOMBER-G」がイベントのオープニングを飾った。「飲食店もダンスも一緒。大切なのは笑顔です!」 **E.** 佳耶ちゃんと一緒に踊ったグループのメンバー、麻衣さんとお母さんの不二子さん。「『まんざら』との出会いは15年前。娘と一緒に行くのもいいわね~」 **F.** 創業時から木下社長とお付き合い、着物デザイナーの重鎮、小林重之、通称シゲさん(左端)。「木下とは語り合ったわ。京都を変えたら、言うてなあ」と思いう話に華が咲く **G.** まんざらの奇抜?な生け花を生けている一恵さん(右)とシギコさん。まんざらを植物に例えると「常に上を向いているチューリップ」「どんどん生えてくる筈!!」 **H.** 「BOMBER-G」のメンバーを鍛え上げたのは、ヤマジュン先生(右)とアヤさん。「具合いれて盛り上げてやー!って送り出しました」 **I.** 今宵、皆様の飢えと渴きを癒し続けたAceの斉藤さん(右端)&沢野さん+garagara MOMIJIに振り返った下村さん(左端)を記念に。「30周年パーティも、絶対ウチでやってくださいよ、社長!」